

皇居をめぐる動き

・ 皇居勤労奉仕団（1945年12月より）

天皇・皇后と民衆が直接言葉を交わす場に

なぜ民衆は皇居の清掃奉仕に参加したのか？

・ 皇居再建運動（1951年）

『毎日新聞』による運動

マスメディアによる象徴天皇像を形成する動き？

松本学（元内務省官僚）の動き

ナショナリズムとの連動

皇居前広場をめぐる

・ 皇室財産の解体

「民主化」のシンボルとしての場所

「文化平和国家」の表象空間

「文化」「平和」と天皇

・ 国民公園としての開放

敗戦後の皇居前広場をめぐる状況

民衆の利用を念頭に置いた整備保存計画

保存団体の設立

メーデーの追放

京都御所・御苑をめぐる

- ・ 御苑の開放と整備

「文化」という概念

- ・ 京都御所の一般公開

「歴史」的建築物としての京都御所

まとめ

- ・ 「文化平和国家」の象徴としての天皇
- ・ 民衆との近さを印象づける空間の形成
- ・ 象徴天皇制における「歴史」という要素

参考文献

- ・ 河西秀哉『天皇制と民主主義の昭和史』（人文書院、2018年、第五章1・2）
- ・ 河西秀哉『皇居の近現代史』（吉川弘文館、2015年、「占領下の皇居」）
- ・ 河西秀哉「歴史を表象する空間としての京都御所・御苑」
（高木博志編『近代日本の歴史都市』思文閣出版、2013年）